

(1) アンケートの概要

実施及び集計作業を教育学部 FD・教育研究推進専門委員会が担当している。

①実施時期

2024年度は、前期分は7月下旬から8月下旬に、後期分は1月下旬から2月中旬に実施した。

②実施方法

令和6年度は、昨年度同様に「WebClass」を使用しWeb上で回答する方法とした。教育学部事務(FD・教育研究推進専門委員会担当)より電子メール(教育学部教職員メーリングリスト)で全教員へ周知し、実施を希望する科目の調査を行った。教育学部事務(FD・教育研究推進専門委員会担当)は、実施希望調査に基づき「WebClass」で授業アンケートを実施する科目を登録した。アンケートは無記名回答とした。

毎年度、前期あるいは後期の最低1科目については授業評価アンケートを実施するよう各教員に義務づけている。(希望者は前・後期とも実施してもよい。)原則として、できるだけ必修の講義または履修学生の多い講義を優先して実施することとしている。

アンケート結果については、各教員が自身の担当科目の結果を「WebClass」で閲覧できるように設定した。各教員は、その結果を確認するとともに、その後の授業およびシラバス作成の参考とすることとした。

③実施内容

アンケートの内容は、学生の所属・入学年度の他に、「授業の満足度と評価」が9項目、「学生の授業に対する興味と意欲」が5項目、「アイアシスタントの使用とシラバスの評価などの授業の周辺の発展」が3項目、計17項目を設定した(後掲(3)参照)。また、最後に『この授業で「良かった」、あるいは「改善して欲しい」と思うこと』を具体的に書くための自由記述欄もある。

次頁の表2の値は、各項目の「おおいにそう思う」を「5」、「どちらかといえばそう思う」を「4」、「どちらでもない」を「3」、「どちらかといえばそう思わない」を「2」、「まったくそう思わない」を「1」として算出した。(「該当しない」を選択した場合は計上しない。)

④過去5年間の実施科目数

2024年度の実施科目数は、前期 科目、後期 科目、計 科目であった。過去5年間の実施状況は、次の表1の通りである。

表1 過去5年間の授業評価アンケート実施科目数

	前期	後期	合計
2024年度	38科目	43科目	81科目
2023年度	40科目	35科目	75科目
2022年度	39科目	36科目	75科目
2021年度	42科目	34科目	76科目
2020年度	26科目	30科目	56科目

(2) 2024 年度授業評価アンケートの結果

2024 年度（前期および後期）授業評価アンケートの結果については、表 2 の通りである。参考までに前年度の 2023 年度の結果も併せて載せる。また、現在の授業は「100 分・14 週」で行っているが、「90 分・15 週」で行っていた授業との比較のために 2018 年度の結果も載せる。

表 2 2024 年度・2023 年度・2018 年度教育学部 授業評価アンケートの結果

問番号	質問項目	2024 年度 平均	2023 年度 平均	2018 年度 平均
1	この授業は総合的にみて満足のいくものであった	4.6	4.7	4.4
2	授業内容はよく理解できた	4.4	4.5	4.2
3	授業の分量と進む速さは適切であった	4.6	4.6	4.3
4	よく準備された授業であった	4.7	4.8	4.5
5	先生の話し方は明瞭で、聞き取りやすかった	4.6	4.7	4.4
6	私語がなく集中できる授業であった	4.6	4.7	4.4
7	補助教材(資料, 教科書, スライド, 黒板など)は学習の助けになった	4.7	4.8	4.4
8	授業の目的, 到達目標を達成できた	4.5	4.5	4.1
9	授業を通して新しい見方・考え方や知識を獲得できた	4.7	4.7	4.4
10	熱意をもってこの授業にのぞんだ	4.5	4.6	4.2
11	この授業で学んだことを, さらに勉強したい	4.4	4.5	4.3
12	この授業に関連してアイアシスタントを使う機会があった	4.1	4.1	2.6
13	授業時間外に勉強した(予習・復習, レポートなど)	4.3	4.2	3.6
14	この授業を卒業までのカリキュラムの中に位置づけて把握する機会があった	4.3	4.3	3.7
15	シラバスは役にたった(授業の目的, 到達目標, 成績評価)	4.3	4.4	3.6
16	シラバスにそって授業が行われた	4.5	4.5	3.8
17	この科目について授業時間外の学習時間(準備活動等を含)は週に平均して何時間ぐらいかを選択してください	2.4	2.3	2.4

① 「授業の満足度」に関する項目（9 項目 問番号 1～9）

9 項目中 6 項目において 2023 年度より 0.1 ポイントダウンしている。2023 年度が 2018 年度に比べ該当 6 項目すべてにおいて上昇していたにも関わらず、今回ダウンしているのは課題といえ、授業への満足度が落ちているといえる。ダウンしていない問 3. 8. 9 においても昨年度とは変化はなく、向上の為、しているとは言いがたい。特に、問 6 「集中できる授業」問 7 「補助教材の助け」などが下がっていることは、授業のあり方にレフレクションを要する結果ともいえる。

FD 委員会としては、「授業の改善」をテーマとして来年度も研修を行う予定でいる。「探求的な学習」が求められている中、大学の授業が高等教育としてどのように授業観を持つべきか、そしてどのように展開すべきかを考える研修としたい。

② 「学生の授業に対する意欲と達成」に関する項目（5 項目 問番号 10. 11. 13. 14. 17）

学生は問 10 「熱意をもって授業にのぞんだ」と全年度と変わりがないが、問 11 「さらに勉強したい」（勉強という用語の使用は今後考えたい）という項目ではポイントが下がっている。他の項目は昨年度と同時となっている。特に、問 17 「授業時間外の学習時間」に関しては一週間に 2.4 時間とすると、一日あたりでは 0.3 時間 18 分程度ということになり、他授業もあるとは言え、少ない時間といえる。授業参加にあたり、予習をするということは少ないのではないだろうか。

学生は真面目で言われたことや課題についてはこなしているが、さらに進んで問題意識を持ったり課題について探究していこうとする意欲を感じることは少ないように感じる。これは単に単位を取得できればいいと考えているのか、自分の所属サブ以外の学習内容に興味がないのか、また学業以外の事に忙しく授業以上に調べたりする意欲はないなどその要因は様々想定できる。授業中や終了後に積極的に質問をし、食いついてくるような学生が少ないのは、共通のとらえではないだろうか。

③「アイアシスタント使用に関する項目」 (1項目 問番号12)

アイアシスタント使用に関しては、昨年度同様となっており概ね利用されていることがうかがえる。見ている学生は必ず見ているという状況といえる。授業者がアイアシスタントを通して連絡事項などを通知するので、必ず授業前後において確認するようにと周知を図ることが利用アップにつながるという。

④「シラバスの評価」に関する項目 (2項目 問番号15.16)

シラバスについては問15「役に立った」の項目でポイントがさがっている。問16「シラバスに沿った」では変わらない。シラバスについては、全学的な見直しが図られ、授業の目的や到達目標、学習内容や授業予定など従来よりも詳細に記述されるようになっている。学生にとっては、見通しを持って授業に臨む事ができるよい状況になっているといえる。一方、シラバス作成段階において教員サイドでは、学習者の実態、志向性や興味・関心などが把握できていない状態での作成であるので、授業が始まってからの修正があり得ることも予想できる。「見通し」や「振り返り」が求められる中、シラバスを機能的に、教員も学生も活用させていくことが求められていくといえる。

(3) 2024年度授業評価アンケートの項目

2024年度授業アンケートの項目は、下記の通りであった。

R6教育学部授業アンケート

このアンケートは、授業の改善を目的としています。WebClassを使って行いますが、回答者は分からないように無記名方式で処理しますので、ご協力をお願いいたします。

問1
必須

あなたの所属課程・コースを記述してください。

問2
必須

あなたの入学年度を選んでください。

令和6年度入学
 令和5年度入学
 令和4年度入学
 令和3年度入学
 令和2年度以前

問3
必須

この授業は総合的にみて満足のいくものであった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問4
必須

授業内容はよく理解できた

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問5
必須

授業の分量と進む速さは適切であった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問6
必須

よく準備された授業であった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問7
必須

先生の話し方は明瞭で、聞き取りやすかった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問8
必須

私語なく集中できる授業であった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問9
必須

補助教材（資料、教科書、スライド、黒板など）は学習の助けになった

おおいにそう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらでもない
 どちらかといえばそう思わない
 まったくそう思わない

問10

授業の目的、到達目標を達成できた

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問11

授業を通じて新しい見方・考え方や知識を獲得できた

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問12

熱意をもってこの授業にのぞんだ

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問13

この授業で学んだことを、さらに勉強したい

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問14

この授業に関連してアイアシスタントを使う機会があった

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問15

授業時間外に勉強した（予習、復習、レポートなど）

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問16

この授業を卒業までのカリキュラムの中に位置づけて把握する機会があった

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問17

シラバスは役に立った（授業の目的、到達目標、成績評価）

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問18

シラバスにそって授業が行われた

必須

- おおいにそう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらでもない
- どちらかといえばそう思わない
- まったくそう思わない

問19

この科目について、授業時間外の学習時間（準備活動等を含む）は、週に平均して何時間ぐらいであったかを選択してください

必須

- 0時間
- 0時間～1時間未満
- 1時間～2時間未満
- 2時間～3時間未満
- 3時間以上

問20

この授業で「良かった」、あるいは「改善してほしい」と思うことを具体的に記入してください。